

## 1 2月定例記者会見の概要

1 日 時 令和2年11月25日(水) 9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎4階 議場

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ加盟社)

NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ加盟社)

毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ加盟社)

河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ加盟社)

読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ加盟社)

福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ加盟社)

福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ加盟社)

みなみそうまチャンネル

計 8 社

< 市側 >

市長 林副市長 総務部長 復興企画部理事 市民生活部長

健康福祉部長 こども未来部長 経済部中目理事 建設部長

教育委員会事務局長

(テレビ会議)教育長 小高区役所長 鹿島区役所長

復興企画部長 経済部長 総合病院事務部長

計 16 人

(司会進行)秘書課長

(会議記録)秘書課広報聴係

### 【市政報告】

皆さん、本日はお集まりいただき誠にありがとうございます。それでは、前回(11月4日)の記者会見から最近までの出来事についてご報告いたします。

まず、新型コロナウイルス感染症についてです。

市民の皆様には、日頃より、「新しい生活様式」の徹底と継続にご理解とご協力をいただいていますこと、誠に感謝申し上げます。

市内では11月に入ってから新たに2人の陽性患者が確認されましたが、その後の感染拡大には至っておりません。一方で、国内では、連日、新規陽性者数が過去最多を更新するなど、予断を許さない状況です。

市民の皆さんには、基本的な感染防止対策であるマスク着用や手指消毒、人と人の距離の確保、3密回避などの継続をお願い申し上げます。加えまして、冬季期間の対策として、適切な換気や保湿・加湿などにもご配慮いただきますようお願い申し上げます。

また、事業者の皆さんに向けては、国の示す業種別ガイドラインが適宜見直しされています。市としても、これらの内容について積極的な情報発信に努めてまいりますし、事業者の皆さんも積極的な情報収集に努め、対応いただきますようお願い申し上げます。

次に、鹿島区の話です。

11月8日に鹿島商工会60周年記念式典が開催されました。式典では、歴代会長はじめ会員の皆様の長きにわたる商工業ならびに地域振興事業へのお力添えに感謝と敬意を表してまいりました。コロナ禍の中で対策を取って実施いただきました。

次に、復興・再生に向けた協議についてです。

11月9日に、第5回南相馬市の避難指示解除後の復興・再生に向けた協議が開催されました。これは、国・県をはじめとした関係機関が、本市の旧避難指示区域の現状と課題について意見交換を行ったもので、小高区の営農再開や移住・定住施策などについて踏み込んだ協議を行いました。

次に、ふるさと学生応援制度についてです。

11月10日に、ふくしま未来農業協同組合様のご協力をいただきながら、ふるさと学生応援制度市産米発送式を執り行いました。

市産米の発送対象となっていた学生への発送は、13日までに完了しました。その後も申し込みが来ていますので、順次、発送作業を進めて参りたいと思います。

次に、市の戦没者追悼式についてです。

11月10日に、ご遺族やご来賓の皆様をお迎えして、市戦没者追悼式を開催しました。今年は、新型コロナウイルスへの対策として参列者を県内在住者に制限した開催となりましたが、84人の方々にご参列いただきました。

当日は、先の大戦で亡くなられたの方々に対して、市民を代表して謹んで哀悼の誠を捧げさせていただきました。

次に、小高区の話です。

11月14日から、小高区の冬の風物詩となっている「あかりのファンタジーイルミネーション in おだか」が始まっております。小高交流センターでは、音楽と連動したイルミネーションも設置しています。令和3年1月11日まで開催しますので、ぜひご家族、ご友人とご覧ください。

次に、市の金婚祝賀会についてです。

11月20日に金婚祝賀会を開催しました。今年は31組62名の皆さんにご出席いただきました。当日は、参加いただいた皆さんのこれまでのご労苦に敬意を表するとともに、これまで培われた知識や経験を若い世代に継承いただくため、健康に留意されながら、社会活動への参加や、生きがいづくりへ積極的に取り組んでいただくことをお願いしてまいりました。

次に、明るい話題です。柳美里さんの全米図書賞受賞についてです。

11月19日に、米国で最も権威のある文学賞の一つである全米図書賞が発表され、翻訳文学部門で本市小高区在住の芥川賞作家、柳美里さんの「JR上野駅公園口」が受賞されました。この作品の主人公は鹿島区出身で、会話に多く相馬弁が出てきます。

今年はコロナ禍ということで暗い話題、重い話題が多い中、今回の受賞は大変喜ばしいことです。

市では、柳美里さんの受賞の功績をたたえ、11月20日より本庁・各区役所において臨時のお祝いコーナーを設置しています。加えまして、11月27日からは本庁舎をはじめとした各所に横断幕を設置する予定です。

続いて、今後の主な話題について触れたいと思います。

本日の記者会見では、11月30日から開会となります市議会12月定例会本会議への提出議案を中心に話したいと思います。

今定例会に提出する案件は、議案37件、報告1件の計38件を予定しています。

主な案件としては、職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定や南相馬市みらい育成修学資金条例の一部を改正する条例制定、補正予算などとなります。

補正予算は、復興・再生に向け直面する課題への対応や、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応など、緊急に対応を要する事業費を計上しています。

今回の補正予算では、まず新型コロナウイルス感染症に対する緊急対応策として、「出産育児応援特別給付金支給事業」に係る経費を計上しております。これは、コロナ禍において新生児を持つ子育て世帯などの負担軽減を図るため、給付金を支給するものです。

また、防災対策として、「防災情報発信強化事業」に係る経費を計上しています。これは、災害時の様々な防災情報を市民へ確実に伝え、市民の迅速な避難行動につなげるため、防災メール登録、さらには防災ラジオの貸し出し促進などに係る費用の増額を行うものです。

関連して、市では、防災情報の広報手段について、携帯電話の普及率が全国平均で8割を超えている現状などを踏まえ、今後、防災メールによる情報発信を最優先として取り組んでいく方針です。

具体的な取り組みとしては、まずは防災メールの登録内容の設定を簡素化します。防災メールの配信内容は、登録時に自分で細かく設定する必要がありましたが、今後は、市が推奨する配信内容をシステムで予め設定するように運用を見直します。この運用見直しは12月1日から開始いたします。

また、市は、現在、大雨や台風などの災害に備え、LINEを活用した災害情報共有システムの導入を進めており、システムの実証訓練を12月13日に実施します。この実証訓練は、市民の皆さんも参加できます。参加方法は広報紙12月1日号、市ホームページ等でお知らせします。

その他に、「小高診療所建設に要する費用」として、将来の有床診療所としての

活用可能性も踏まえた施設整備費などを計上しています。  
議案の詳細は、のちほど総務部長より説明いたします。

**【各部からの報告】**

総務部

- ・第8回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨
- ・令和2年度南相馬市予算主要事業説明書（12月補正）

**【各部からの資料提供】**

総務部

- ・新型コロナウイルス感染症に対する南相馬市の緊急対応策  
【12月補正予算案分】

総合病院

- ・小高診療所の整備について【各部からの報告】

**【質疑応答】**

質問1：

「出産育児応援特別給付金支給事業」の県内他自治体の給付状況と市長の思いを教えてください。

回答1：市長

制度への思いについては、市内では震災や原発事故などの影響で新生児の出生数が減り、加えて、コロナ禍ということもありますので、独自対策として多子世帯を支援したいという思いで実施するものです。

回答1：こども未来部長

県内の実施状況としては、10月15日時点で59市町村のうち、33の自治体で実施されており、県内13市で見れば12市で既に実施済みです。

第3子以降の加算については、出生時の祝い金などがあるだけで、給付金と併せて実施している自治体は県内では初めてとの認識です。

質問2：

小高診療所の東側にある既存建物はどのように利用する予定か教えてください。

回答2：市長

病院関連の施設として活用する予定ですので、各種健康講座の会場として活用する予定です。

回答2：総合病院事務部長

医師による健康サロンの会場やリハビリ施設としての活用などを検討していません。

質問3：

既存建物は病棟としては利用できないのでしょうか。

回答3：市長

現時点で病棟としての利用は考えていませんが、今後検討したいと思います。

質問 4 :

小高診療所の整備で、病棟が予定建物とされていますが、実際に建設するためには、どういったことが必要なのか教えてください。また、診療科目の変更有無と、診療所で新たに利用できるようになるサービスがあるか教えてください。

回答 4 : 市長

病棟の建設に向けては、医療人材の安定的な確保が前提となりますが、コロナ禍の影響で市内の医療人材も不足していることから、現時点では難しい状況です。

回答 4 : 総合病院事務部長

診療科目の変更はありません。新たに利用できるようになるサービスとしてはレントゲン撮影などが可能となります。

質問 5 :

小高診療所の診療体制について変更点があれば教えてください。また、医師の数に変更があるかも教えてください。

回答 5 : 総合病院事務部長

これまで常勤医 1 名、非常勤医 3 名で月曜日から金曜日で診療を実施しています。整備後は、診察室が 2 つに増えますので、内科と外科を同時に診察するなど二診体制とすることを考えています。

回答 5 : 市長

医師については現在募集中です。可能であれば、常勤医の増員など、充実してまいりたいと思います。

質問 6 :

小高区内の幼稚園 3 園を廃止する条例制定がありましたが、小学校なども休校となる予定ですが、建物の解体などの見通しがあれば教えてください。

回答 6 : 市長

市全体の方針として、公共施設の 25% を統廃合で減少させる計画があります。

現在、検討中ですので、まもなく原案をお出しできると思います。耐震で問題があるものは取り壊さざるを得ないと思いますが、公的利用や民間活用も含めて検討してまいりたいと思います。

質問 7 :

原発事故の帰還困難区域について、国の分類では、南相馬市では居住している人はいないことになっていますが、市の認識と合っているか教えてください。

回答 7 : 市長

震災時は一世帯おられました。ご本人から「戻る考えはない」と伺っております。そういう意味で 0 人という表現になっていると理解しています。

質問 8 :

帰還困難区域の解除についての考え方をお聞かせください。飯館村では全てを除染しないまま解除する方向性なども出てきています。南相馬市の除染についてどのように考えているか教えてください。

回答8：市長

居住の有無に関わらず、帰還困難区域の解除は必要と考えています。そのためには、一定の線量以下になることが必要と考えており、そのために必要なことがあれば国にやっていただきたいと考えています。

ただ、線量を下げるときの手法の検討や現在の線量、除染等を行うことで人が住めるのかなど、現実的な協議、検討はできていません。市としても検討は必要と考えています。

市内に帰還困難区域のような場所が存在することは問題ですので、解除に向けて引き続き声をあげてまいります。

以上